

7月度木曜例会 (2018.07.05)

於：福祉文化会館202号室

ゲスト：Mr.Abu Baker Rafat Khan

(Ritsumeikan University)

テーマ：Threshold of Islamic Republic of Pakistan in 21st Century  
(21世紀に於ける、パキスタン・イスラム共和国の閾値)

大昔に聞いた、

Threshold levelという言葉、未だに鮮やかに憶えています。

その意味は、

物事が、ある状態から違った状態に変化する、境の値。

私がこの言葉を耳にしたのは、

技術系の講義の時でしたが、

永い時と経て、再び、この言葉を聞きました。

今回のゲストは、

立命館大学にて研究中の、若きパキスタン人、カーンさん。

ビリヤードが好きで、日本語は難しいけれども、

日本を、殊の外、好きだという。

この<Threshold>をどのように語ったのでしょうか？

彼の生い立ち

- ・ 誕生 パキスタンで生まれた。
- ・ 小学校卒業 Jeddah ( Saudi Arab )
- ・ 中学校卒業 California ( U.S.A )
- ・ 高等学校卒業 Islamabad ( Pakistan )
- ・ 大学卒業 Osaka ( Japan )

この様な経歴から

ウルドゥー語 (母国語)、アラビア語、スペイン語、  
英語、日本語、ヒンドゥー語など7か国語を解すという。

スペイン語、アラビア語は久しく使っていないので怪しいかもと本人は言っていました。

彼の父親は、

ビリヤードに熱中しすぎていた息子を危ぶみ、

有益な事に取り組むよう、将来を考えさせた。

彼は、医者になる事も考えたけれども、

コンピュータを学ぶことにした。

現在、立命館大学の政策科学科の大学院の2年生です。

彼の母親

何事につけ、そうしなさいと決定した。

父親は、

それが実現するよう、財政面で支援するという役回りとの事。

イスラムの家族で、この様に、母親が重要な役割を果たしているのに驚きました。

パキスタンの女性人権運動家でノーベル平和賞を受賞した<マララ・ユスフザイ>をご存知でしょう。

カーンさんの母親の事を聞き、マララさんを思い出しました。

今、マララさんのノーベル平和賞受賞時の演説を聞き直しました。

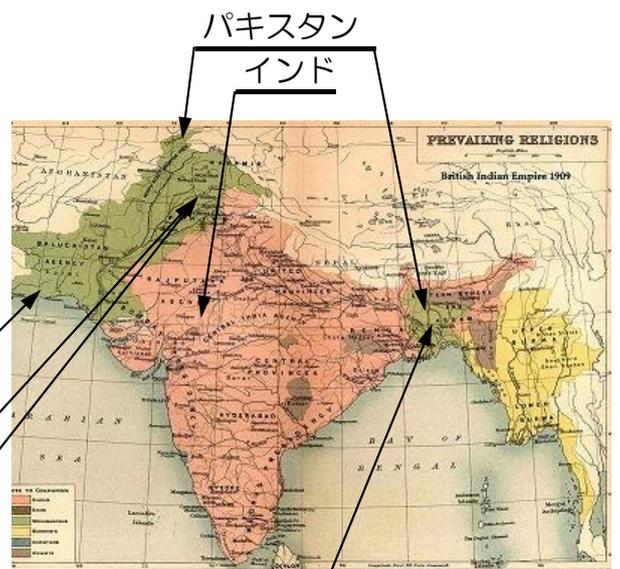
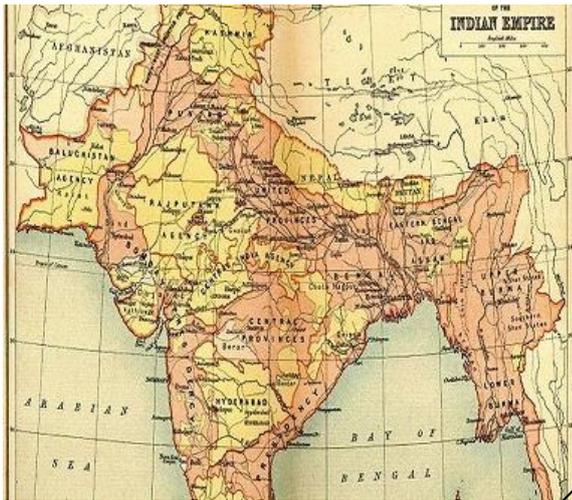
きっと、カーンさんの母親は、マララさんのよう人なのでしょう。



いいえ、カーンさんの母親のような方が居るから、マララさんのよう人が育つのでしょう。  
**パキスタン・イスラム共和国の生い立ち**

[英国からの独立前]

[英国からインド・パキスタン分離・独立] 1947年



カラチ  
ラウルピンディ  
イスラマバード

東パキスタンは、  
後に、バングラデシュとして独立(1971年)

インド・パキスタンは1947年、英国の植民地支配から脱却・独立しました。  
また、

インドとは宗教の違いから（インド：ヒンドウー教、パキスタン：イスラム教）分離しました。

現在の人口	2億7千万人。	開発が進んだところに集中しているようです。
首都	イスラマバード	独立当初は、首都はカラチであったが、 1956年6月に、パキスタンの首都として選定された。 首都建設中、1969年迄は、 ラウルピンディが暫定的な首都であった。

### パキスタンのスポーツ

パキスタンではクリケットが盛んで、特に、隣国インドとの試合では、  
真に、シリアスな状況になるとの事。インドとは、

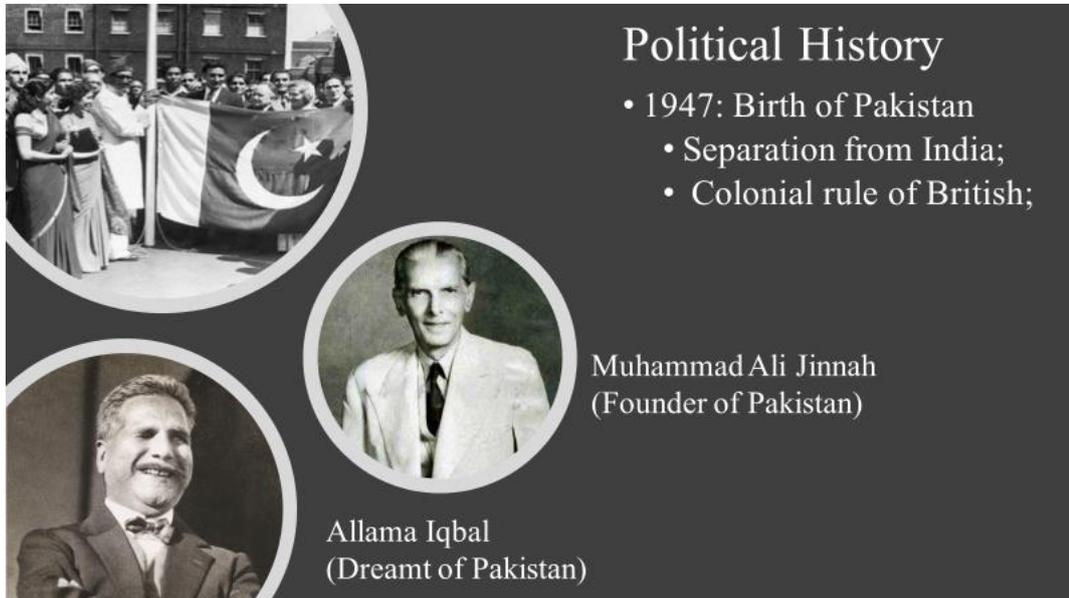
1950年代の中ソ緊張の影響もあって、中印戦争となり、インドは核を保有した。  
この事が、パキスタンの核武装へと繋がった。

インド	核実験：1974年、1998年
パキスタン	核実験：1998年

**国内外の状況（近隣諸国とは領土の帰属問題を抱えている）から、**  
パキスタン歴代の政権は、軍部出身者に占められ、国家予算の多くが軍事費に割かれています。  
陸軍:55万人、海軍:2.4万人、空軍:4.8万人、予備役:30.2万人

## パキスタンで最も有名な人は。

- Muhammad Ali Jinnah (建国の父、最も偉大な指導者と呼ばれる)  
建国の父と呼ばれる所以を調べて見ました。  
独立前後、様々な紆余曲折を乗り越え、インドとの分離・独立を果たした功績からでしょう。  
その経緯は簡単には語りつくせません。
- Allama Iqbal (ムスリムの詩人、哲学者、政治家)  
ウルドゥー語で書かれた彼の詩を、ご自身が謳うその調べは、  
意味が分からない私が聞いても、心が騒ぎます。(YouTubeで聴く事が出来ます)  
増してや、同国人が聞いた時、感動を覚えるのでしょうか。



カーンさんは、

日本の2大政党は何だと我々に質問しましたが、どなたも自信を持って答えず、  
ちょっと困った様子でした。

一方、パキスタンでは、

- Pakistan Tehreek-e-Insaf (パキスタン正義運動)  
党首のImran Khanは1992年の第一回クリケットワールドカップでの優勝に貢献  
また、グリーン・リボン・運動<子供一人に一本の木>を提唱しています。  
人口の多さを考える、途轍もない計画と言えます。
- Pakistan Muslim League (パキスタン・ムスリム連盟) 党首: Nawaz Sharif  
党首のNawaz Sharifは医療や交通等の社会インフラの整備に貢献しています。

カーンさんは、持続可能な公共交通機関について研究しています。

車を買う余裕がない人は、公共交通機関にアクセスする際の問題に直面しています。

(パキスタンを発展させるためにメガプロジェクトが必要か?)

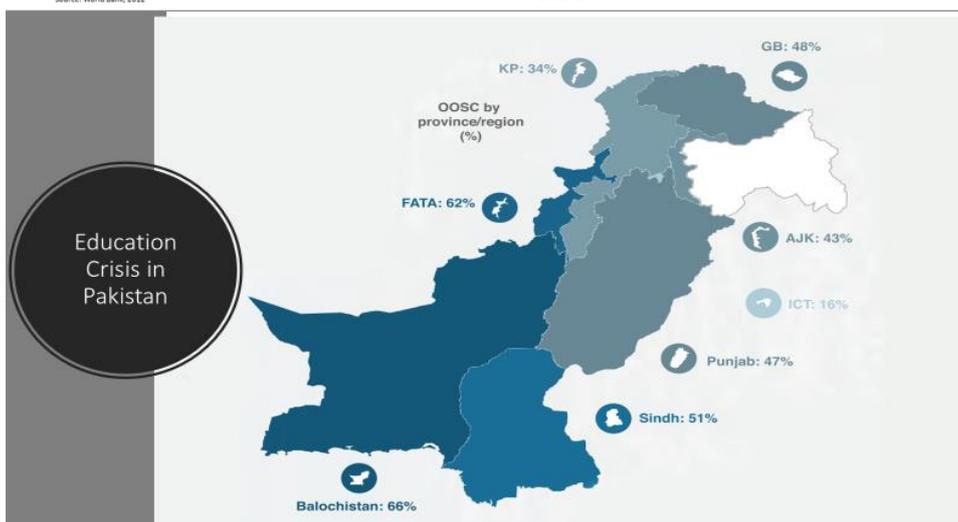
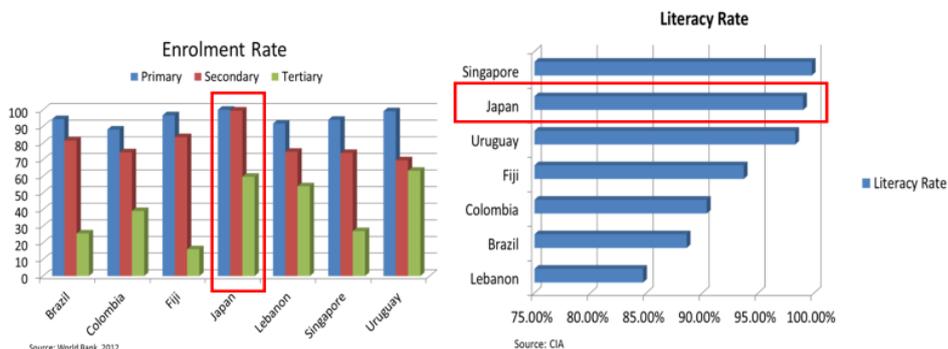
パキスタンを訪れた外国人が、お国の史跡の事を訪ねても答えられない人が多いという。

かつてはインダス文明を生んだ誇るべき地の事を国民自身が知らないという。

そもそも、その事を国民は教えてもらっていないのです。

では、国を発展させるものは何か？ ⇒ 教育である

各国の比較<Literacy Rate（識字率）、Enrollment Rate（就学率）>、OOSC（就学率）  
 自国のOOSC（Out Of School Chirdren）データを示し  
 教育事情に危機感を著していました。



**教育が普及しない理由**

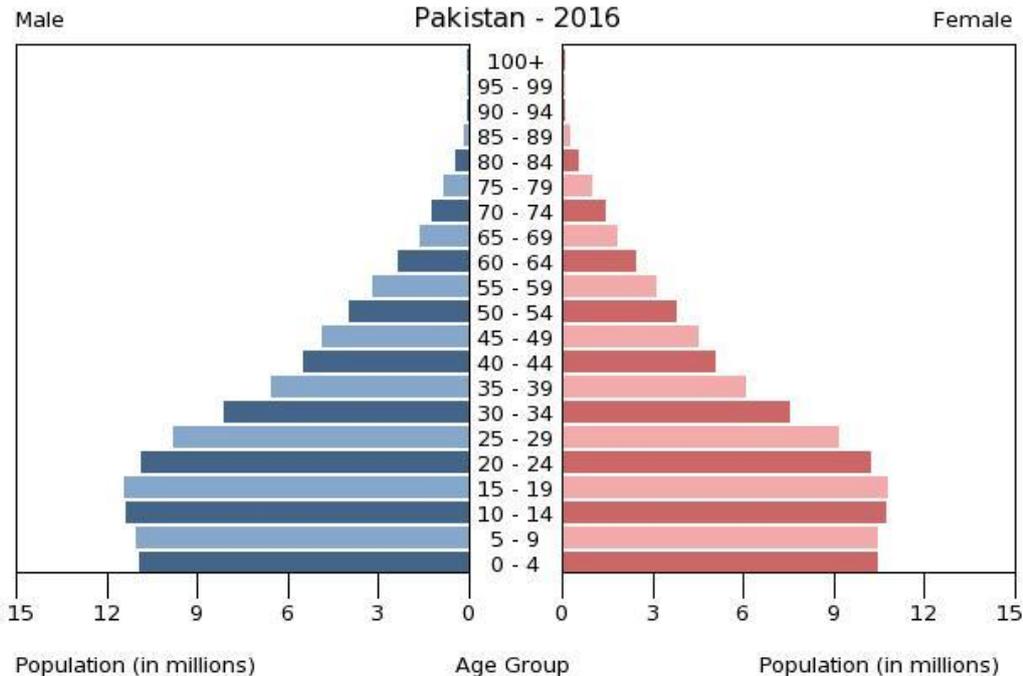
- 親が許さない
  - 子供が望んでいない
  - 費用が掛かる
  - 就学年齢を外れている
  - 学校が遠い
  - 病気/障害がある
  - 貧しい
- 家族の為に働く  
 家の仕事を手伝う

日本の就業状況（失業率）は



## パキスタンにおける年齢別の人口構成

ピラミッド型で、若い年齢層が多い。



若い年齢層が多いという事は、

彼らが、適切な教育を受けられるような環境が整備され、産業が育成されれば、パキスタンという国が、大いに発展することは、想像するに難しくありません。

日本は開国当初、

先進諸外国から招いた教師に、高額な報酬を支払い、様々な事を学んだ。

或いは、優秀な子弟を先進国に派遣し、

身に着けた知識を日本に持ち帰り、広め、後進を育て、発展の基礎を築いた。

この様な道を歩んで来た日本を見本としているようです。

カーンさんのスピーチを聞いて以来、

見聞の中に、<パキスタン>という言葉があれば、見過ごす事や聞き流す事はなくなりました。

時あたかも、パキスタンでは下院総選挙が行われ、

P T I (Pakistan Tehreek-e-Insaf : パキスタン正義運動) が躍進、野党第一党になりました。

党首：イムラン・カーン氏は、汚職対策、貧困対策に取り組む決意であると伝えられています。